

公益財団法人 日産財団
日産財団ニュースレター (第2号)

今回のテーマは、福島県への理科教育助成の開始が決定した報告と、
前号につづき 理科教育助成の助成校の活動紹介です。
今回は、**教員の指導力向上**を目的とした2つの実践です。

福島県への助成開始について

理科教育助成 は現在、神奈川県と福岡県と栃木県の3県で実施していますが、2013年度から、日産自動車いわき工場のある福島県にも助成を開始することが決定しました。
この助成が、東日本大震災で被災した福島県の教育復興の一助となることを願う次第です。

横浜市立中学校教育研究会理科部会

豊かな表現力を育む理科教育を実践するための授業力の向上

横浜市は、経験5年未満の理科教員が約4割を占めているのが現状です。
理科部会は、学校の垣根を越えて経験豊富な教員の実践力や指導力を、次世代に伝えるための研修会や、授業研究、研究発表会を活発に行っています。

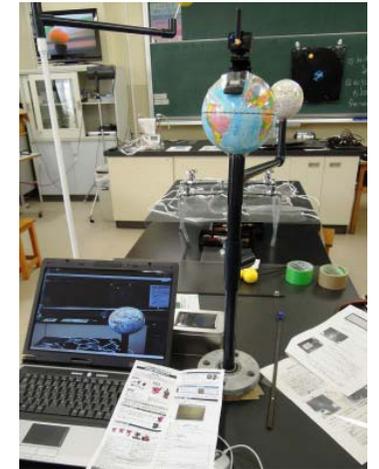
教材の開発や、研究内容と成果を収めたCD-ROMを市内の中学校に配布するために、日産財団の助成金が活用されています



『生徒科学作品展』は、生徒にとっては学習する機会をもつ場となり、先生方にとっては、情報交換をし、指導力を向上させる大切な場となっています



日産財団の常務理事も、子どもの目線で真剣に実験に取り組んでいました



ワークショップでは、開発した教材の作り方や使い方などが紹介されます

「日産財団ニュースレター」

日産財団の活動をもっと知っていただきたくて、教育委員会や助成校の皆さまに向け、年3回発信します。
この紙面で紹介して欲しい活動やイベント情報をお待ちしています。
是非、先生方のネットワークづくりの場にご活用ください。

栃木県 宇都宮大学教育学部附属小学校

『子供が理科の学びのよさを感じられる教材の開発と発信』

教育学部の附属小学校ならではの、人的資源を活用した先導的・実験的な取組みを、中長期的な視点から実施しています。
大学と連携した実践研究成果を、毎年研究発表会の場で公開し、県内外の教員の資質・能力の向上や教育活動の推進に、寄与しています。



学習のキーワード群の繋がりを表現した『サイエンスマップ』を活用した授業方法は、子ども達に自然観の変容と広がりを実感させることができます

実験教材の開発や科学館などへの視察研修に、日産財団の助成金が活用されています